2018年の

金正恩委員長

2018年の金正恩委員長

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
チュチェ108（2019）

はじめに

歴史の流れにおいて１年は瞬間に過ぎない。

しかし、その１年の間に、朝鮮では、朝鮮労働党中央委員会第７期第３回総会で社会主義経済建設に総力を集中するという新たな戦略的路線が提示され、それに沿って自力更生の旗印の下に科学技術を推進力として社会主義強国建設が強力に推進された。人民経済のチュチェ化路線を貫徹するための闘いで前進が遂げられ、人民を喜ばせ、人民生活の向上に資する多くの建造物が築かれて、自立経済の強大な潜在力が誇示された。

特に2018年には、３度にわたる北南首脳の対面と会談、３度にわたる朝中首脳の対面、史上初の朝米首脳会談などの劇的な出来事が起こった。

そうして、対決の局面を迎えていた朝鮮半島と地域に和解と団結、平和と繁栄の新たな雰囲気が形成されるという驚くべき現実が展開された。

世界の注目と関心を集めたこの劇的な出来事はどのようにして起こったのか。

この問いに対する答えを、敬愛する最高指導者金正恩（キムジョンウン）委員長の2018年の足跡をたどって求めてみる。

本書が、読者諸賢がその足跡の中に朝鮮の理想と力、その実現と世紀の終着点をうかがい知るのに一助となれば幸いである。

目　　次

1. 社会主義強国づくりの進路に沿って

新年元旦に

金正恩委員長は、2018年正月元旦に全朝鮮人民への新年の辞を行った。

ここではまず、過ぎ去った1年に間朝鮮人民が成し遂げた誇るべきことを大きな喜びと自負をもってしみじみと追憶し、新たな希望と期待を抱いて2018年の新春を迎えたとして、全国の家庭の健康と幸福、成果と繁栄を祈り、子供たちの新年の願いとすべての人民が志向する美しい夢が実現することを望んでやまないと述べた。

ついで、去る1年間の社会主義強国建設のすべての部門における成果を総括し、これらすべての成果は朝鮮労働党の主体的な革命路線の勝利であり、党の周りに固く団結した朝鮮人民と軍隊の英雄的闘争の貴い結実であると述べた。

委員長は、社会主義強国建設のすべての部門で新たな勝利を勝ち取るための革命的な総攻勢を繰り広げるべきだとして、新年の闘争課題とその方途を明示した。

北南関係を改善し、自主統一の突破口を開くための課題を示した委員長は、今後とも民族自主の旗印を高く掲げてすべての問題を「わが民族同士」で解決し、民族の団結した力によって内外の反統一勢力の策動を粉砕し、祖国統一の新しい歴史を綴っていくであろう、今年

2018年の新年の辞を行う金正恩委員長

は北と南で万事がうまく行くよう心から望んでいると述べた。
委員長は、朝鮮労働党と共和国政府はわが国の自主権を尊重し、われわれに友好的に対するすべての国との善隣友好関係を発展させ、正義・平和の新しい世界を建設するために極力努力するであろうと述べた。
最後に委員長は、朝鮮労働党と共和国政府は人民の信頼と力に依拠してチュチェ革命偉業の最後の勝利を勝ち取るまで闘争と前進をとどめることなく続け、すべての人民が尊厳ある幸せな生活を享受する社会主義強国の未来を必ず早めるであろう、ともに朝鮮労働党の指導に従って革命の新たな勝利を目指して力強く前進しようと呼び掛けた。
歴史的な新年の辞を行う委員長の確信に満ちた姿は、朝鮮人民に、将来への希望と最終的勝利への信念を強く抱かせた。
金正恩委員長の新年の辞は、朝鮮民主主義人民共和国創建70周年を迎える2018年に、革命的な総攻勢によって社会主義強国づくりのすべての部門で新たな勝利を収めるための進路を明示した戦闘的旗印となった。

自力自強のふるさと

金正恩委員長は１月、新年初の現地指導対象として国家科学院を訪れ、昨年、わが国の科学者、技術者たちは経済建設と人民生活の向上に必要不可欠の大きな研究成果を収めたと高く評価した。
そして、私は党中央委員会第７期第２回総会において科学技術分野を他のすべての分野の前に押し立てた、総会が打ち出した革

国家科学院を現地指導する金正恩委員長

命的対応戦略を貫く上でのキーポイントは科学技術を先立たせることである、科学技術の先行をもって立ちはだかる難局を切り抜けていこうということが、党中央委員会第７期第２回総会の基本的思想であると述べた。

委員長は、科学者、技術者たちは自らの使命と任務をはっきりと自覚して、人民経済の自立性と主体性を強化し、人民の生活を改善し向上させる上で意義の大きい科学技術上の問題を解決するための創造と探究にこぞって取り組むべきであるとして、科学展示館に展示された研究成果の資料と陳列品を見て歩いた。

今日、国家科学院科学展示館は自力自強の宝庫、国家科学院は自力自強のふるさとと呼ばれている。

金正恩委員長の国家科学院に対する現地指導は、科学技術の威力をもって社会主義強国づくりの進撃路を開き、朝鮮革命の最終的勝利を早めようとする朝鮮労働党の確固たる決心と意志を今一度誇示した。

教育者育成の原種場

金正恩委員長は１月、改装なった平壌（ピョンヤン）教員大学を訪れて、沿革紹介室、教育科学展示館とその他大学の処々を見て歩き、改装・近代化の状況と教育実態を具体的に確めた。

委員長は、わが党は教員大学を非常に重視している、私は教員大学で養成された教養員（幼稚園の先生）や教員が次世代教育の強い根になり、肥やしになることを期待している、教員大学の学生や卒業生はこの点を肝に銘じるべきだと述べた。

そして、学生たちを一等級高い段階の授業を受け持って遂行しうる教養員、教員に準備させること、ほかならぬこのことが教員大学がモットーとして取り組むべき目標である、師範教育部門はこれを重要な政策的課題とし、これに第一の力を注ぐべきだと強調した。

続けて委員長は、教員大学は教授の内容と方法の改善に努めるべきだとして、今や教授の内容と方法の改善なくして優れた人材の養成をはかることは不可能である、大学は進展する現実の要請に即して教授内容の改善に主力を傾け、同時に教授方法の改善を強く推し進めるべきだと語った。

平壌教員大学が新しい時代の要請に即して立派に改装され、教授の内容と方法の科学化、情報化、近代化が実現されて、朝鮮では学齢前児童教育と小学校教育を新たな科学的土台の上に確固と引き上げることができた。

また、大学教育のモデルが高い水準で実現し、朝鮮を教育の国、人材強国につくるための新世紀教育革命を力強く推し進めることができた。

新たな戦略的路線の提示

金正恩委員長の指導のもとに、朝鮮労働党中央委員会第７期第３回総会が４月、平壌で行われた。

委員長は最初の議題についての報告で、党中央委員会2013年３月総会が打ち出した歴史的課題が輝かしく遂行されたと宣言し、社会主義経済建設に総力を集中するという朝鮮労働党の新たな戦略的路線を提示した。

朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会を指導する
金正恩委員長

そして、朝鮮労働党の並進路線が偉大な勝利をもって締めくくられたように、経済建設に総力を集中するという新たな戦略的路線も必ずや勝利するであろうとして、ともに朝鮮革命の勝利の前進を速めるべく勇気百倍して力強く奮闘しようと強調した。

続く第２の議題でも委員長は報告を行って、科学・教育事業で革命的転換を起こすべきだと強調し、最初の議題で討議された経済建設に総力を集中する問題も科学・教育事業の急速な発展なくしては及びもつかないと指摘した。

そして、科学と教育の発展を堅持することは革命の命脈を力強く継いでいくための万年の大計を支える事業である、国を将来を見越して持続的に発展させるには、可視的な成果より以上に科学と教育を重視し、その発展に力を傾注すべきだと述べた。

委員長は、**「科学によって飛躍し、教育によって未来を裏付けよう！」**という戦略的スローガンを提示し、科学技術強国・人材強国づくりに拍車をかけるための課題と方途を明示した。

党中央委員会第７期第３回総会は、革命発展の要求に即して新たな戦略的路線を打ち出すことにより、朝鮮を隆盛・繁栄する社会主義国家に建設し、人民の自主的理想と幸福を実現するための闘いで画期的局面を開いた歴史的な契機となった。

第一の力を注ぐべき

金正恩委員長は７月、漁郎川（オランチョン）５号発電所を現地指導した。

委員長は、発電所の操作室で発電機の稼働状況を確かめた後、今やわれわれは一段階高いレベルの発電機を生産する時期を迎えてい

る、発電設備の生産技術が進んでいる国々で高効率発電機の生産に適用している最新技術をわが国にも導入すべきだと語った。続けて咸鏡北道は科学者、技術者との活動に力を入れるべきだ、わが党の科学技術重視政策にしっかり立脚して、道の科学者・技術者陣を強化し、生産者大衆を現代科学技術に習熟させ、教育事業を改善するために努めることだと強調した。

委員長はまた、咸鏡北道の当年の農作状況について尋ね、農業生産の向上をはかるには、穀類のヘクタール当たり収量を高める方策を十分に立てなければならないが、農業の実績を上げるにも電力が必要だと語った。

委員長は、漁郎川発電所の建設は白頭山英雄青年発電所を建設した時のように、全党的・全国家的な力を投入し、すべての人的・物質的潜在力を総動員して推し進めるべき事業である、咸鏡北道は軍民協同作戦を果敢に展開し、漁郎川発電所の建設を急ピッチで完遂することだ、とりわけ八郷ダムと漁郎川４号発電所は来年中に必ず建設を終えなければならないと力をこめて言った。

漁郎川５号発電所は、設備の管理に力を入れて発電設備のフル稼働・フル運転を正常化し、電気をどんどん生産し、咸鏡北道での電力問題の解決に大きな力を入れている。

海面養魚の活性化をはかり

金正恩委員長は７月、サケ海面養魚事業所とタイセイヨウサケ種魚場を現地指導した。

サケ海面養魚事業所を視察した委員長は、海面養魚、囲い網養

魚の科学化、工業化に必要な先進技術を積極的に導入し、汚染していない清潔な海の生態環境を高いレベルで維持・保護することに力を入れるべきだと述べた。

そして、タイセイヨウサケの飼育に適した水域を拡大して、至る所でより多くのタイセイヨウサケを生産できるようにすべきだと語った。

また、サケ加工品生産の科学化、オートメ化、近代化のレベルを高め、衛生安全性ならびに品質を確実に保ち、規格化、標準化を実現しなければならないと強調した。

タイセイヨウサケ種魚場の現地指導では、採卵と孵卵、稚魚の生産を正常化し、植物性飼料の研究を深めて多量生産を確保し、科学的な種魚保存システムを確立して種魚の退化を防ぐ対策を引き続き強力に立てなければならないと指摘した。

委員長は、国の水産資源と生態環境を積極的に保護する活動を

全党的・全国家的・全人民的な運動として強力に推し進め、海面養魚・養殖、淡水養魚を広く行い、稚魚の大々的な放流を終始一貫たゆみなく続けなければならないと強調した。

サケ海面養魚事業所とタイセイヨウサケ種魚場が立派に整えられた結果、朝鮮にはタイセイヨウサケを安全に生産しうる物質的・技術的基盤が十分に備わるようになった。

愛国心の結実

金正恩委員長は７月、江原道（カンウォン）の人民が独力で建設した江原道育苗場を視察した。

委員長は、われわれは荒廃の危機にある山々の緑化をめざす山林の復旧、万年の大計の愛国事業へと全党、全人民を今一度奮い起こすべきだ、江原道は引き続き山林復旧の先頭を切るべきだ、江原道育苗場が果たすべき任務はすこぶる重大だと述べた。

そして、最近も強調したことだが、自力更生、自給自足の革命的気風はわれわれが最高のスピードをもって発展しうる原動力であり、われわれの最も高価な財宝であり資源であると語った。

また、われわれは江原道の人たちのように自給自足のスローガンを高く掲げ、自力更生の革命精神を発揮して、この地に富強な繁栄する社会主義強国を打ち立てなければならないと指摘した。

委員長は展望台に上がって育苗場の全景を見渡し、江原道育苗場の風景はなかなか見応えがある、実に素晴らしいと言って明るく笑った。

そして、江原道育苗場は道内の幹部や勤労者が自力に確信を抱

き、独力でつくり上げた愛国心の結実である、江原道の人たちの闘争気風、働きぶりを全人民が見習うようにしなければならないと強調した。

全国の先頭に立つよう

金正恩委員長は7月、松涛園（ソンドウォン）総合食品工場を現地指導した。

2010年1月に操業を始めたこの工場では、人民から好評を受ける140余の菓子類と加工食品が生産されている。

委員長は、最近松涛園総合食品工場の評判が高まっている、人民の間で松涛園総合食品工場の製品に対する人気が高まり、需要が伸びているのは、工場の業務が偏向なく進んでいることを意味

する、工場の幹部と従業員は生産の正常化と工場管理運営の科学化、近代化を力強く推し進めることで、人々の生活に潤いを持たせ、党政策の正当性を実証すべきだと指摘した。

委員長は、以前も強調したことだが、江原道は党政策の実行では先頭を譲ってはならない、江原道精神は戦後の復興建設期にチョンリマ（千里馬）時代を生んだチョンリマ精神のような時代精神である、江原道精神の真髄は自力更生、自給自足だと語った。

続けて、党政策を無条件貫徹すべきだとする観点、党政策の貫徹は誰かが代行してくれるのではなく、自分の生きる道は自らが切り開いていくべきだとする立場がほかならぬ江原道精神の核だと述べた。

委員長は、江原道は政治、経済、文化をはじめとするすべての分野で常に全国に先駆けて進むべきだと強調した。

今日江原道は、あらゆる分野で手本を生み、全国がそれに見習っている。

人民に高級魚類を与えるために

金正恩委員長は８月、延豊湖（ヨンプンホ）放流漁業事業所を訪ねた。

延豊湖はコウライケツギョの生息に適した湖であり、湖岸にコウライケツギョの孵卵と稚魚の養殖を科学技術的に行いうる種魚場がつくられていた。

委員長は、延豊湖放流漁業事業所は種魚場の役割を強め、コウライケツギョその他の稚魚を大量に生産して延豊湖に放流することに努めなければならないと強調した。

延豊湖放流漁業事業所を現地指導する
金正恩委員長

委員長は、国の水産資源を保護、増殖することは次代のためにもなる栄誉ある愛国事業である、われわれは全国の至る所に延豊湖放流漁業事業所と同じような種魚場を立派に設けて管理運営し、先進科学技術に基づく水産資源の保護・増殖運動を大々的に展開すべきだ、自然水域における放流漁業と養魚を活性化すれば、ここ数年内に人民にコウライケツギョのような高級魚類を大量に生産して供給できるだろうと語った。

委員長は、清川江（チョンチョン）に段階式発電所を建設して出来た貯水池には囲い網養魚を行い、各道・市・郡は種魚場をそれぞれの実情に即してつくり、稚魚の放流を手落ちなく行うことだ、そうなれば水産資源をやむことなく保護、増殖して人民の生活の向上に役立つであろうと述べた。

事業所を見て回った委員長は、延豊湖放流漁業事業所の幹部と従業員は党の構想と意図を肝に銘じ、延豊湖にコウライケツギョが群がる日を早めるために取り組まなければならないと強調した。

延豊湖放流漁業事業所の幹部と従業員は、党の水産資源保護政策をあくまで貫徹し、人民により多くの魚類を供給する決意を固めた。

医療機具工場のモデルに

金正恩委員長は８月、妙香山（ミョヒャンサン）医療機具工場を視察し、保健医療部門の実態を確かめた上で、保健医療事業のレベルを向上させるための課題と方途を明示した。

委員長は、わが国の社会主義保健医療制度は金日成（キムイルソン）主席が確立

妙香山医療機具工場を現地指導する金正恩委員長

し、譲り渡して下さった遺産である、保健医療部門の振興をはかるのは、わが国社会主義制度の優越性、人民的施策の優越性をいかんなく発揮させるための重要な政治的問題と見なすべきだ、病院部門をはじめ製薬工場、医療機具工場などに対する物質的バックアップに力を注ぎ、活性化することで、社会主義保健医療制度の強みが余さず発揮できるようにすべきだと強調した。

工場を視察した委員長は、自分は今日医療機具工業の実態を確かめて対策を講ずるべくここへ来た、粗末な物、立ち後れた物は捨てて進んだ物と取り換えることで前進していけば良い、立ち後れているとして気落ちすることはないとして、工場の幹部たちを励ました。

委員長は、医療機具工場を全般的に近代化するには、自分の考えでは、保健医療部門で妙香山医療機具工場を国の医療機具工場のモデルに仕上げると良いのではなかろうかと思う、妙香山医療機具工場を近代的に建て直し、それをモデルにしてすべての医療機具工場の近代化を果たすことだと語った。

続けて委員長は、妙香山医療機具工場の幹部と従業員に、私がチョンリマを提供しよう、それにまたがり、国の保健医療部門、医療機具工業部門の先頭に立って進み、みんながこぞってその責務を立派に果たしていくことだと再度強調した。

国の総領大学に

金正恩委員長は９月、創立70周年を迎えた金策（キムチェク）工業総合大学を訪れた。

大学の教員、研究士たちと一緒に記念写真を撮った後委員長は、

創立70周年を迎える金策工業総合大学を
現地指導する金正恩委員長

金策工業総合大学の使命と任務は極めて重要だ、金策工業総合大学はわが国における科学技術人材養成の原種場、センターである、この大学の卒業生が経済建設、科学研究、技術開発などの諸分野でそれぞれの役割を立派に果たしていけば、われわれの革命は力強く前進すると語った。そして、金策工業総合大学は自らの使命と任務に即して、新世紀の情報産業革命の機関車、中枢の役割を果たし、朝鮮革命の原動力を育て上げる、国の総領大学にならなければならないと強調した。

大学教育の条件と環境を改善するための課題と方途を明示した委員長は、今後金策工業総合大学をはじめ諸大学は外国の一流大学との交流を活発に進めるべきであり、金策工業総合大学は教育の質を一段と高め、科学技術の研究を通じて達成すべき当面の目標を明確に定めて確実に実行していかなければならないと語った。そうして、大学創立70周年が教育事業と科学研究事業で転換をもたらす契機となるようにすべきだと述べた。

金策工業総合大学のすべての教員と研究士は、党の大いなる信頼を肝に銘じ、チュチェ朝鮮の未来を担って立つ科学技術人材をより多く育成し、先端科学の要塞を極める取り組みで新たな飛躍と革新を遂げる決意を固めた。

２. 思いはひたすら人民に

千万金を投じても

金正恩委員長は１月、平壌製薬工場を現地指導した。

委員長は、今製薬工業部門が立ち後れてはいるが、わが国の科学技術陣容は強力であり、化学工業の基盤も備わっているのだから、医薬品の生産に必要な原料・資材の国産化に関する研究に力を入れ、製薬工場をサポートすれば、製薬工業部門を興隆させることはわけなくできるとし、われわれは千万金を投じても社会主義保健医療事業、人民の健康の増進と保護で一段と大きな成果を収めなければならない、これは単に保健医療部門にのみ課された政策的任務ではなく、われわれの革命の要請であると語った。

委員長は、人々は社会主義保健医療の恵沢が自分の肌に触れる時に初めて党の人民的な保健医療施策の素晴らしさを実感し信頼を寄せることになる、人々が党の人民的施策をたたえるようにする上では、保健医療こそが最大の役割を果たすことになると述べた。

委員長は、平壌製薬工場を建て直すことが国の製薬工業興隆の重要な契機となるようにすべきだとし、平壌製薬工場をわが国の製薬工業の中心、モデルに仕上げ、他のすべての製薬工場もみなこれに見習うようにすることだと指摘した。

平壌製薬工場の幹部と従業員は、手ずから自分たちの職場を訪ね

平壌製薬工場を現地指導する金正恩委員長

て近代化のより高い目標を示し、人民のための温情を施した金正恩委員長に感謝の挨拶をささげ、その戦闘的課題を立派に貫徹する誓いを立てた。

首都の旅客輸送の改善をはかり

金正恩委員長は１月、改築なった平壌トロリーバス工場を現地指導した。

この工場ではトロリーバスの組立工程をリモコン化し、各生産工程をオートメ化して以前より労働力と電力を大幅に節約できるようになった。また、科学技術普及室とデザイン創作室を充実させて、従業員を豊かな科学技術を身につけた知識型の技能工に育てるばかりでなく、文化的なトロリーバスのデザインも創作できるようになった。

委員長は、首都の旅客輸送問題を解決するのは、人民大衆中心の朝鮮式社会主義の本態を揺るぎなく守り、その優越性を発揚させる極めて重要なことであるとし、トロリーバスや路面電車のような大衆交通手段を近代的なものに改善して首都市民の交通上の便宜をはかり、首都の姿を一新すべきだと語った。

委員長は工場の構内に停車している新型のトロリーバスを見、格好がなかなか良いと言ってその外部と内部を具体的に見て回った。

数日後の深夜、委員長は新型のトロリーバスに乗車して市内をめぐった。

委員長は幹部たちを見回して、数日前新型のトロリーバスを見る

には見たが、その出来具合をただ見ただけでは性能までは知ることができない、わが国の人たちが乗るものだから、私がじかに乗ってみないでは気がおけない、だからわれわれがみな一緒にトロリーバスに乗り、人民の立場で不備な点はないかを注意深く観察してみることにしようと言って、乗車した。

委員長は、このようなトロリーバスを独力でつくったのはたいそうなものだ、実に誇らしい、われわれの労働者たちがつくりあげたトロリーバスに乗ってみると、わが家に帰ったようなくつろぎを覚えると語った。

委員長は、きょう新型のトロリーバスに乗ってみたが、とても満足した、たとえ不備な点が少々あるとしても、すべてが貴重なものに思える、私は、自力更生の力をもってつくり出したこのような創造物を目の前にする時が一番嬉しいと言った。

金正恩委員長は８月、再び平壌トロリーバス工場を訪ねた。新型のトロリーバスを見て回りながら生産状況と工場の近代化状況を確かめた委員長は、われわれは人民が望むなら空の星をも取ってきて与えるために努力しなければならないとし、これはわが党の闘争綱領だと語った。

ついで、委員長は松山（ソンサン）路面電車事業所を訪れ、新たに製作された路面電車を見た。

路面電車の内部を見て回った委員長は、今度首都旅客運輸局と平壌トロリーバス工場、バス修理工場が実に大きなことをやり遂げた、市民が喜ぶことだろうと満足げに言った。

路面電車を降りて歩みを移していた委員長は、つと立ち止まり、路面電車を振り返って、実に良く出来ている、なかなかの美男子だと語った。

新型の路面電車を見る金正恩委員長

新型の路面電車の試運転を指導する金正恩委員長

委員長はその夜、新型の路面電車とトロリーバスに乗って試運転を指導した。

路面電車に乗った委員長は、今度自強力第一主義の旗を高く掲げて新型の路面電車を製作したのは実に大きな成果だ、自力更生はなんと素晴らしいことだろう、国の旅客輸送問題、大衆交通運輸問題を完全に解決するために積極的に努めなければならないと力をこめて言った。

ついで新型のトロリーバスに乗車した委員長は、車内を詳しく見た後、さっき乗ってみた路面電車もそうだったが、このトロリーバスもやはり魅力的だ、今日は一年中最高に喜ばしい日だ、と言った。

今日、首都の街路には新型の路面電車とトロリーバスが自力更生の威力を誇示しながら勢いよく走っている。

平壌を代表する人民サービス施設

金正恩委員長は６月、新たに建てられた平壌大同江水産物食堂を視察した。

食堂には各種の淡水魚とかん水魚の屋内生け簀や多様な形式の食事室、加工品売り場が備わっていて、人々の味覚や好みに合う、生きの良いさまざまの高級魚類を即席に料理して出すようになっている。

委員長は、当該部門から送られた食堂建設の資料を見て設計も施工も立派になされていると評価したが、実際に来てみると実に素晴らしく、ユニークに出来上がっているとたたえ、食堂の名称を**「平壌大同江水産物食堂」**としようと言った。

新築された平壌大同江水産物食堂を見て回る金正恩委員長

委員長は食堂の内外を丹念に見て回り、軍人建設者たちが人民のための称賛に値する建設を今一つ仕上げたとして大きな満足を表し、玉流館（オンリュ）と並んで平壌を代表する今一つの人民サービス施設が生み出されたと、喜びにあふれて言った。

委員長は屋内の生け簀でのんびり泳ぐチョウザメや龍井魚（リョンジョン）、サケ、ニジマスなどの高級魚類や加工品売り場を見ながら、市民たちは、年中生きの良い魚を材料にした美味で高栄養の水産物料理や加工品をサービスされるようになったのでみな喜ぶだろうと言った。

大衆食事室や家族食事室、民族料理食事室をはじめ諸食事室を見て回った委員長は、市民たちが家族同伴でここに来て食事もし、世界各国の料理も賞味できるようにし、わが国を訪れる外国人にもサービスすべきだと強調した。

今日、平壌大同江水産物食堂は誰もが好んで訪ねてくる人民サービス施設としていつも賑わっている。

われわれのものを発展させるべき

金正恩委員長は６月、新義州（シン イ ジュ）化粧品工場を現地指導した。

工場の幹部たちと挨拶を交わした委員長は、化粧品「ポムヒャンギ（春の香り）」をもって名声を上げている新義州化粧品工場を以前から一度訪ねてみようと思っていたが、最近、工場が優れた成果を上げたという報告を受け、きょう時間を割いてやって来たと言った。

委員長は、数年前から私は化粧品の質を高め、その生産を増やすことに努めるようにとずっと強調している、化粧品工業部門はわれわれの技術と国内の原料をもって化粧品を開発することを第一の課

題とし、そのための研究を強化し、競争的に新製品の開発に努めなければならない、そうするなかで、自工場が開発した化粧品の特色を十分に生かしていくことだと指摘した。

委員長は化粧品への要求は地域毎に相違があるだけでなく、人々の年齢や性別によっても異なるのだから、新義州化粧品工場は人々の性別や年齢別の違いに即して、各種の基礎化粧品を入念につくり、国内の製品はもとより外国製の化粧品とも品質の比較・分析を十分に行って、弱点は補い、長所はさらに伸ばしていくことだと語った。

委員長は、商品の評価は質の良否によってなされはするが、商品がどれほど有名なのかということにも大きく左右されるものだとし、商品の評価がそういう風になされるのは人々の一般的な心理である、だから、今後当工場製品の質を高め、包装を多様に行うだけでなく、同時に広告と宣伝にも力を入れれば、人々は外国の化粧品よりも当工場の化粧品に惹かれるだろうと語った。

続けて委員長は、われわれは人々が外国のものに対する幻想を捨て、わが国のものに愛着を抱くようにすべきではあるが、だからといってわが国のものを頭から優れているとばかりたたえず、良くない点は批評も加えるべきだ、そうすることで国産品の質は高まることになるのだと指摘した。

化粧品の品質を絶えず向上させ、人々の好みと年齢、体質の特性に合うように品目を増やしている新義州化粧品工場は、国の化粧品工業の全盛期を開く上で先駆的役割を果たしている。

工場の主要な目標

金正恩委員長は６月、新義州紡織工場を現地指導した。

1959年９月に操業を始めた新義州紡織工場は、人民の生活に必要な織物の生産で長い歴史と伝統を持つ工場である。

委員長は、新義州紡織工場を新世紀に即した工場に一新する上での主要な目標は、工場を省力型の工場につくりかえることである、われわれは軽工業を振興させて、人民が幸せで豊かな物質・文化生活を心ゆくまで享受しうるようにしなければならないと指摘した。

続けて委員長は、われわれは葦を原料とする人造繊維工業のレベルを一段と高く引き上げるべきだ、人造繊維工業を強化するのは、わが国の軽工業を自立的・主体的な工業に発展させる上で重要な意義を持つと述べた。

委員長は、新築する工場の寮の敷地を定め、強力な建設陣を派遣する措置も講じた。

三池淵郡を山間文化都市の典型に

金正恩委員長は７月、三池淵（サムジヨン）郡の各所を現地指導した。

委員長はまず、三池淵イモ粉生産工場を訪れた。

委員長は、今後ジャガイモの産地にはみなイモ粉の生産工場を設けるべきだとし、自分は三池淵イモ粉生産工場製のイモ粉を試食してみたが、ジャガイモ固有の味がそのまま保たれていた、今世界的にイモ粉の需要が高いということだが、やがてわが国でもイモ粉の需要が高まるだろうと言った。

当年のジャガイモ農作状況についての具体的な説明を受けていた委員長は、三池淵イモ粉生産工場の生産を正常化するためには、三池淵郡におけるジャガイモの生産を高めなければならない、三池淵郡は、種イモの植え付けを適期に手落ちなく行い、ジャガイモ畑の肥培管理を科学技術的に進めて、ヘクタール当たり収量を画期的に高めるべきであると語った。

委員長は三池淵郡中興（チュンフン）農場を現地指導し、農場第１作業班の農地を視察した。

委員長は営農の機械化はどれほどの比率でなされているかを尋ね、中興農場をまず総合的機械化のモデル農場に立派につくり上げ、それに基づいて郡内の全農場を総合的機械化が高いレベルで完璧に実現した、わが国における標準、農場員の理想が現実化した総合的機械化農場に引き揚げることだ、機械化の比重を高めるに当たっては古い規準をもって進めるべきではない、時代の要請に即した新しい規準が生み出されなければならないと語った。

続けて、先進技術と科学農法を積極的に導入し、三池淵郡の風土に適した新しい農法を生み出さなければならない、そうして、両江（リャンガン）道のジャガイモの生産問題で心労を重ねておられた金正日（キムジョンイル）総書記の念願を必ず実現させよう、三池淵郡は今年のジャガイモの生産を立派に行って勝利の凱歌を上げることだと重ねて強調した。

委員長は三池淵郡の邑地区で進められている建設を現地指導した。

委員長は、三池淵郡の建設は建設部門で一大跳躍期を迎える一つの革命であるとし、諸地方における現今の建設状況を見ると、旧来の方式を踏襲しているにすぎないが、今度この機会に跳躍がなされなければならない、そういう意味で今進めている三池淵郡の建設が地方建設を発展させる一つの山場になるだろうと語った。

続けて、あくまで住民の便宜をはかる原則、山間地帯の特性を積極的に生かす原則に立って進めることだと強調した。

委員長は、三池淵郡の建設は全党、全国が当然の関心を向けるべきではあるが、三池淵郡の人たちが主人としてのおのれの責務を全うすべきである、全国的な取り組みで建設が進められるとして当地の人たちの自立性と自力更生の精神が希薄になってはいけないと述べた。

金正恩委員長は８月、三池淵郡の建設現場を再び現地指導した。

委員長は、40日ぶりにここ三池淵邑地区の建設場に来たのだが、その間見違えるばかりに変貌した、三池淵郡を労働党時代の素晴らしい山間文化都市として立派に建設しようというわが党の意図を実現すべく、白玉のように清い忠誠心をもった建設者たちが献身的な努力を傾けた結果、ついに雄壮な姿を現し始めたと大いに満足し、白頭山麓の意義深い地帯にわれわれの社会主義文明が凝縮した山間

文化都市をこれ見よがしに建設しなければならないと語った。

委員長は活気にみちた建設現場を見渡して、われわれは実に素晴らしい人民に恵まれて偉大な時代をたぐり寄せている、あのように優れた人民と手をたずさえて進むならばこの世のどこであれ恐れることなく立ち向かっていくであろう、すべての建設者に私の同志的な挨拶を必ず伝えて欲しい、と言った。

これに励まされた建設者たちは、金正恩委員長の遠大な構想を実現して、白頭山麓の意義深い地帯に山間文明都市、人民の楽園を築く決意に満ち、日ごと新しい奇跡と革新をもたらした。

10月、三池淵郡を３度目に訪れた金正恩委員長は、邑地区に次々と立ち上がっている住宅やサービス施設、公共建築物を視察し、８月に来てみた時は骨組みの工事に取り組んでいたが、わずか２カ月余りで早くも建物のほとんどが竣工段階に入っている、なんという素晴らしさだ、三池淵郡が山間文化都市の典型として目を見はらさんばかりの姿を現出したとして喜びにひたった。

三池淵イモ粉生産工場を現地指導する金正恩委員長

三池淵郡邑地区に新築された住宅とサービス施設、
公共建築を見て回る金正恩委員長

委員長は、毎度強調の上に強調していることだが、性急に事を運んで速度一面に偏重するようなことがあっては絶対にならない、何事であれすべて同様ではあるが、とりわけ建設の場合工事に手抜きがあれば、当面の使用者はもとより、次代の人たちからまでも非難を浴びることになる、それゆえすべての建築物を労働党時代の記念碑的創造物として、万年の大計をもって建てなければならないと強調した。

この日、金正恩委員長は三池淵イモ粉生産工場を再び現地指導した。

委員長はジャガイモの貯蔵庫に高く積み上げられているジャガイモの山を見て、今年例年にない不利な気象条件のもとでも三池淵郡はジャガイモの豊年を迎えたと大きくたたえた。

そして、イモ粉の大々的な生産がなされている現状のもとで、人々にイモ粉がいかに優れた食品であり、その効果はどう現れるかということも教え、イモ粉を材料にしたいろいろな食べ物のつくり方も広く紹介、宣伝し、食生活に積極的に利用するようにすべきだと語った。

委員長は、この７月三池淵郡を訪れた際、わが党のジャガイモ農作革命方針の提示20周年に当たる意義深い今年、金正日総書記のふるさとの地にジャガイモの山を高く積み上げて忠誠の報告を行うことにしようと激励したが、当郡はその課題を果たしたと今一度高く評価し、道及び郡の責任幹部、三池淵イモ粉生産工場の幹部たちと共にジャガイモの山に腰をおろして意義深い記念写真を撮った。

大規模の野菜温室農場の建設を発起

金正恩委員長は、咸鏡北道鏡城（キョンソン）郡仲坪（チュンピョン）里に大規模の野菜温室農場を建設する構想を立てて、７月、現地を訪れて敷地の状況

咸鏡北道鏡城郡温堡温室農場建設の準備状況を
現地で確かめる金正恩委員長

をじかにわが目で確かめ、野菜温室農場建設展望計画について語った。

委員長は広大な沃野を見渡して、当地に100ヘクタール規模の野菜温室農場を建設すればたいそうなものになるだろう、これほどの面積の温室農場なら道民の需要を十分に充たせるだろうとし、このように人民のための誇らしいことを一つひとつ探し出して実行に移す時が何よりも喜ばしいと言った。

委員長は、わが国で初めて雄大かつ膨大極まる野菜温室農場を建設するだけに、人民軍が全的に担当して電光石火の意気込みでやりとげるようにすべきだとし、わが党が咸鏡北道の人たちのために投資を惜しまずに建設する農場だから建設の速度と質を共に高め、最上のレベルを保つべきだと強調した。

委員長は、農場員の住宅地区と文化厚生施設も都市に劣らず近代的に建設し、農場の住民地区をそれこそ暮らし良くも楽しく働くことのできる社会主義農村文化建設のモデル、社会主義楽園に立派につくりあげようと語った。

金正恩委員長は温堡（オンポ）温室農場建設の準備を指導すべく、８月、再び現地を訪れた。

委員長は、温室農場の敷地が非常に広いことを考慮して、当地区に江原道の育苗場に劣らぬ近代的な育苗場を同時に建設して、当地区を朝鮮労働党の人民的で愛国的な政策が集大成された区域に仕上げるよう指示した。

委員長は新たに建設する温堡温室農場を、世界的な科学技術の発展趨勢と温室栽培関連の先進科学技術資料を深く研究し、われわれの実情に合った最も合理的な方案を立て、最上級のものを建設すべきだとし、さらに温室と育苗場の建設と並んで、道は温室の管理幹

部及び技術者、従業員の充実を前もってはかり、建設の完了次第即時生産と運営に取り掛かれるよう、準備することだと強調した。

一つを作っても丹念に

７月、元山（ウォンサン）戦傷栄誉軍人かばん工場を現地指導した金正恩委員長は、育ちゆく子どもたちを革命の頼もしい継承者に育成するのはわが党の一貫した方針である、わが党が次代教育重視思想を打ち出し、困難を極めている国情の下でも全国の子供や生徒・学生に学用品やかばん、制服をきちんと行き渡らせるべく尽力しているのは、彼らがありがたい社会主義制度の恵沢を心ゆくまで享受し、世に羨むことなく国の優れた働き手に育っていくようにするためだと語った。

委員長は、わが国の子供や生徒・学生がみな国産品を使うようにしなければならない、次代の教育に必要な物は国が負担してでもすべて完備しなければならない、そうすることは、子供たちが幼い頃から愛国心を抱くようにする上で重要な意義を持つと語った。そして、幹部たちは党の意図に深く留意し、通学用かばんの質を高めることに努め、責任を持って課題を果たさなければならない、通学用かばんを母親の心情をこめて作ることだ、わが子に最上のかばんをと願うのはすべての親の共通の心情である、だから一つのかばんを作っても、わが子の肩に背負わせるものをという思いをこめ、丹念に作るようにというのがわが党の意図だと語った。

ついで委員長は、工場の従業員はほとんどが戦傷栄誉軍人なのだから、彼らに優れた生活環境と生産条件、生活条件を提供すべきだ

元山戦傷栄誉軍人かばん工場を現地指導する
金正恩委員長

とし、祖国防衛の軍人精神を堅持して働くわが戦傷栄誉軍人を社会的に押し立て、優遇し、心から生活の世話を焼き、彼らが次代のための仕事に誇りを抱いてより熱心に働くようにしなければならないと強調した。

金正恩委員長の現地指導に励まされた工場の幹部と従業員は、見栄えのする丈夫な通学用かばんをより多く生産するために奮闘している。

参戦老兵に崇高な敬意を

金正恩委員長は祖国解放戦争勝利65周年に際して７月、祖国解放戦争参戦烈士墓に参り、人民軍烈士に崇高な敬意を表した。

委員長は党と革命、祖国と人民のための聖戦に参加し、貴い生命を捧げた人民軍烈士を追慕して黙祷した。

委員長は、党と革命、祖国と人民を死をもって守った祖国解放戦争参戦烈士の不屈の闘争精神と英雄的偉勲は祖国の歴史にとわに輝くであろうとして、全人民軍将兵ならびに党員、勤労者、若い世代が、強大な尊厳ある社会主義朝鮮の百戦百勝の歴史と伝統をゆるぎなく継承してゆくものとの確信を表明した。

ついで委員長は、祖国解放戦争参戦烈士墓の前で第５回全国老兵大会の参加者たちに会った。

委員長は党と祖国への燃えるような忠誠心と熱烈な愛国心を持って勇敢に戦い、勝利の7・27を勝ち取った1950年代祖国防衛者たちの不滅の偉勲があったがゆえに、今日、わが共和国は尊厳のある人民の国としての威容を誇り、社会主義強国の高峰をめざして

力強く前進しているとして、すべての参戦老兵の前に頭を下げて敬礼をした。
委員長は、血潮をもって祖国を守った恩人である参戦老兵たちは老いても衰えを見せず元気な身で、育ちゆく青少年の心の中に1950年代の英雄戦士たちの祖国防衛、革命防衛の精神をはぐくむ立派な教師、教育者として生の瞬間瞬間を輝かせていくであろうとの期待を表明し、大会参加者と共に記念写真を撮った。

実利の大きい工場

金正恩委員長は８月、三泉(サムチョン)ナマズ工場を現地指導した。
三泉ナマズ工場の幹部や従業員は、近代的な科学技術に基づく自力更生の闘争気風をいかんなく発揮して工場の姿を立派に一新し、年間のナマズ生産計画を超過遂行した。
委員長は、三泉ナマズ工場は金正日総書記が人民や軍人の食卓を魚類をもって潤すべくナマズ養魚の新しい歴史を開いていた初期に建設された、わが国におけるナマズ養魚の総領工場である、みなわが党が力を入れて近代化を果たした工場であることを忘れず、毎年必ずナマズの生産能力を落とすことなく、人民と軍人の食生活の向上に積極的に寄与する工場、実際に役に立つ工場としての名誉を輝かせていくことだと強調した。
冷凍貯蔵庫に案内された委員長は、冷凍ナマズを見て、まるで金塊が積み上げてあるかのようだ、本当に貴重な宝の工場だとして、全工場が党の養魚政策を貫徹するという一つの志向を持って奮励努力し、生産的高揚を起こすことにより、共和国創建70周年を誇らし

三泉ナマズ工場を現地指導する金正恩委員長

い勤労の成果をもって迎えようと激励した。
　三泉ナマズ工場は、ナマズ養魚のチュチェ化、科学化、集約化、工業化の旗印を高く掲げて生産課題を超過遂行するために奮闘し、朝鮮におけるナマズ豊漁の新しい歴史を創造している。

西海沿岸の宝庫

　金正恩委員長は８月、金山浦（クムサンポ）塩辛加工工場を現地指導した。
　金山浦塩辛加工工場は、朝鮮で初めて塩辛を工業的方法で生産する加工工場の建設を発起した委員長の細やかな指導によって金山浦地区に建てられた食品加工工場である。
　委員長は製品展示室の試製品を見て、種類が実に多い、同じ魚でもあれこれと加工可能なものはすべて漏らさず加工したようだ、包装も見るからに心が引かれるようになされ、形式も多様だ、塩辛についての研究が深くなされているということが分かると高く評価した。
　委員長は製品の貯蔵庫に案内されて、庫内に隙間なく積まれてある塩辛の加工品を眺め、実に見ごたえのある素晴らしい光景だ、わが国で初めて建設された塩辛加工工場だから生産が予定通りになされるだろうかと気にしたものだが、山のように積まれた塩辛の製品を見ると自信が生じる、人民の食生活の向上にいささかなりとも役立てうるようになったと考えると自負が生じ、誇らしい思いに駆られると語った。
　委員長は、長いこと貯蔵庫内を見て歩きながら、金山浦塩辛加工工場は人民の食生活の向上に一役買う西海沿岸の宝庫だと言える、

金山浦塩辛加工工場を現地指導する金正恩委員長

自力更生の精神を発揮し、科学技術の力を駆使し、大きな努力を傾けてたたかうことによって、共和国創立70周年を誇らしい勤労の成果で輝かせ、母なる党に大きな力を与えたとして工場の幹部と従業員たちの功績を大きくたたえ、感謝すると述べた。

人民のリゾートに

金正恩委員長は８月、平安（ピョンアン）南道陽徳（ヤンドク）郡の温泉地区を現地指導した。

陽徳郡の温泉は硫黄成分を多分に含み、ラドン成分は極めて少ない高温泉で、湧出量が非常に多く薬理作用と治療効果が高いばかりでなく、温泉水成分の分析結果によると、汚染性評価指標であるアンモニウムと亜硝酸、硝酸イオン、それに病原性微生物が皆無で、一切汚染のない温泉として評価されている。それでわが国では、この地区を総合的な療養地ならびにリゾートとして開発する計画を立ててこれに大きな力を注いでいた。

委員長は激しく降りしきるにわか雨にもめげず、陽徳郡温井（オンジョン）里一帯の温泉場を視察し、湧出量や周辺地帯の状況を確かめた。

委員長は、山が高く木々が生い茂り、空気の澄む風致秀麗な陽徳郡は、温泉休養所と療養所建設の適地だとして、総合旅館の候補地を定め、このあたりに総合旅館を大きく建て、周辺には自炊宿所なども手落ちなく設け、各種の近代的な総合サービス施設も造成すると良い、野外での温泉も楽しめるよう屋内風呂だけでなく露天風呂もつくるなど各種の温泉浴サービスを提供するようにすることだと語った。

平安南道陽徳郡温泉観光地区建設現場を現地指導する
金正恩委員長

委員長は、温泉地区の開発を人民の幸福の創造者、文明の開拓者である人民軍が担当すれば、党の構想と意図を違えることなく短期間にやり遂げるだろうから、人民軍に全的に任せて、温泉地区を立派に開発し人民に贈るようにしようと言った。

金正恩委員長は10月、平安南道陽徳郡温泉観光地区建設現場を再び訪れた。

委員長は、建設現場に出動した人民軍部隊が天を衝く意気に燃えて万端の準備を整え待機中にあるという報告を受けて満足し、党が構想した対象建設を、経験に富む有力なこの連合部隊に一任したので気がおける、「一当百」の戦闘力で聞こえた連合部隊の将兵が党の信任と期待に立派に応えて、温泉観光地区の建設でも今一度自らの気概を大いに発揮して人々の称賛を得るものと信ずると激励した。

委員長は、われわれは今人民の文化・情緒生活を豊かにすべく少なからぬ対象建設を進めているが、現在の条件が特別に良くてゆと

りがあり、物量に恵まれているからではなく、世界で最高に優れた朝鮮人民を一日も早く社会主義文明の最高峰に立たせようというわが党のゆるがぬ決心と強い意志により、万難を排して一つひとつ築き上げる創造物である、人民軍将兵はわが国で初めて進める温泉観光地区の建設を任せてくれた党の信頼を胸に深く秘め、人民の優れた息子、娘らしく、人民の幸福の創造者らしく、世界に誇るに足る今一つの人民の所有物を立派につくり上げるべきだと強調した。

人民軍軍人たちは、金正恩委員長の信頼にこたえて温泉観光地区建設の完工の日を早めるために勇猛果敢に立ち上がった。

人民への贈り物

金正恩委員長は10月、開館を前にした三池淵管弦楽団劇場を現地指導した。

三池淵管弦楽団劇場はわが国の劇場の中で一番歴史の古い牡丹峰（モランボン）サーカス劇場を、独特な建築様式を生かしながらも音響学的に完璧な、生音色劇場の特性をそなえた管弦楽団専用劇場として建て直された劇場である。

委員長は長いこと劇場の内外を丹念に見て回り、演奏ホールの幾つかの席で三池淵管弦楽団の演奏を聞き、それぞれの位置における音響の特性を比べてみた。

そして、演奏ホールの音響は実に良い、楽器の生の音色がそのままに聞こえる、音響が良いので管弦楽の演奏が清澄かつ繊細に聞こえ、情緒的で心の安らぎを覚えるし、楽団の品位もいっそう高まるだろうとし、建築音響分野における一大革新であり、成功した劇場

開館を前にした三池淵管弦楽団劇場を現地指導する
金正恩委員長

である、とたいそう満足した。
委員長は、三池淵管弦楽団劇場は党創立73周年を迎える人民への今一つの優れた贈り物になるだろうとして、新しい劇場の主人となる三池淵管弦楽団の全芸術人たちを祝った。
劇場の幹部や従業員は、人民の貴重な財宝であり、享有物である三池淵管弦楽団劇場を一層立派につくり上げ、最上の演奏をもって人民大衆中心のわが国の社会主義制度がいかに優れているかを世界に誇示する決意に満ちていた。

黄金の海の歴史をつくる先駆者たちを訪ねて

金正恩委員長は11月、東海地区の諸水産事業所を現地指導した。
5月27日水産事業所を訪れた委員長は、冬期の集中漁労を開始した東海地区諸水産事業所における漁獲の実績報告を毎日受けているが、わずか数日の間に大量の魚を捕ったという報告を受け、嬉しさの余り漁労工たちを鼓舞激励したくて駆けつけてきたとして、親しく「黄金海(ファングムヘ)—014」号漁船のデッキに上がり、大漁旗をひるがえて帰港した船長をはじめ漁労工たちの労をねぎらった。
委員長は、捕ってきたばかりの魚を陸揚げする作業や、野外荷おろし場に吐き出される魚の滝を見ると、実に気持ちが良い、この素晴らしい光景を背景にして写真を撮ろうと言って、漁労工をはじめ従業員たちを呼んで記念撮影を行った。
委員長は冷凍貯蔵庫に山と積まれている冷凍魚ブロックを眺めながら、まさに宝の山、黄金の塊のようだ、集中漁労を開始してわずか数日にして早くもほとんどの貯蔵庫一杯に魚が積まれたと

は、と言って喜び、今のような調子で魚を捕れば貯蔵庫がとても足りない、今後急凍能力を年次高めて２～３倍に至らしめるべきだと語った。

委員長は8月25日水産事業所を現地指導した。

8月25日水産事業所は、「丹楓（タンプン）」号型漁船の故郷、黄金の海の歴史をつくるふるさとである。当水産事業所は国の水産部門全般が経営に行きづまり頓座していた時、わが党が水産部門を盛り立てる突破口を開くべく特別に押し立て指導した事業所である。「丹楓」号型漁船が出現し、漁獲に乗り出してから、人民軍の水産部門に大衆的革新の炎が燃え上がり、黄金の海の歴史が始まったのである。

委員長はこの水産事業所の冷凍貯蔵庫を見て回り、貯蔵庫ごとに数千トンもの魚類が積み上げられていることに大きな満足を表明した。

委員長は、事業所の幹部と従業員は漁労で新しい烽火を燃え上がらせた先覚者、モデルにふさわしく今後も黄金の海の歴史を開いていく航路をやむことなく前進するであろうとの期待と確信を表明し、彼らと共に記念写真を撮った。

委員長は１月８日水産事業所を現地指導した。

この水産事業所は、全国すべての育児院と愛育院、初等及び中等学院の院児ならびに養老院の年寄りたちに魚類を毎日欠かさず供給するために設立された事業所である。

委員長は、設立当初は毎年出漁して育児院と愛育院、初・中等学院の院児と養老院の年寄りに毎日300グラムの魚類を供給するようにとの課題を与えたが、今後漁労に力強く取り組んで、日に400グラムが行き渡るようにすべきだと語った。

東海地区の水産事業所を現地指導する金正恩委員長

委員長は、１月８日水産事業所は自分が最高に重視している水産事業所であるとして、事業所の幹部や漁労工がこの誉れある任務を遂行する高い誇りと自負をもって全国の先頭を進み、新たな奇跡と革新を生んでいくであろうとの期待と確信を表明した。

金正恩委員長の現地指導を受けた東海地区諸水産事業所の幹部と従業員は、黄金の海の歴史を開いていく誇らしい闘いで目覚しい漁労実績を上げることで、国の水産部門を先導する決意を固めた。

全国に広く知られた製靴工場

金正恩委員長は12月、元山製靴工場を現地指導した。

工場の幹部たちと挨拶を交わした委員長は、最近「全国履物展示会」で元山製靴工場が１等をした、工場が出品した「鷹峰山(メボンサン)」ブランドの履物は人気が大変なものだという報告を受けて本当に嬉しく思った、地方の大きくもない工場が全国的な噂の的になった製靴工場、わが国の製靴工業を主導する総領工場になったと高く評価した。

生産現場を見て回った委員長は、日増しに高まる人民の生活上の要求を充たすためには、多様な形態の履物を生産し、色も上品で人々の美的感覚をみたし、軽くて丈夫なものをつくることに中心をおき、それらの質を世界的なレベルに達するよう常時心がけることだと強調した。

委員長は、きょう工場を満足して視察したとして高く評価し、工場に予告もせずに不意にやって来たが、履物の豊年を見ることがで

元山製靴工場を現地指導する金正恩委員長

きた、工場が生産の正常化に力を注ぎ、上質の履物が滝のように流れ出てくる様子を見ると本当に喜ばしく、気持ちがいいと顔色を輝かせて語った。

　今日、元山製靴工場では自力更生の旗印を高く掲げて、人民の好評を受ける履物をより多く生産するための増産運動が力強く繰り広げられている。

３. 北南関係の新たな歴史をつづる

北と南の共同の慶事に

金正恩委員長は2018年の新年の辞で、今年はわが人民が共和国創立70周年を大慶事として記念し、南朝鮮では冬季オリンピック競技大会が開催されることにより、北と南にとってともに意義のある年だとして、われわれは民族的大事を盛大に執り行い、民族の尊厳と気概を内外に宣揚するためにも、凍結状態にある北南関係を改善し、意義深い今年を民族史に特記すべき画期的な年として輝かせるべきであると述べた。そして、南朝鮮で近く開催される冬季オリンピック競技大会について述べるなら、それは民族の地位を誇示する好ましい契機になるだろうから、われわれは大会が成功裏に開催されることを心から願っており、こうした見地からして、われわれには代表団の派遣を含めて必要な措置を講じる用意があり、そのために北と南の当局が至急会うこともできるだろう、同じ血筋を引いた同胞として、同族の慶事をともに喜び、互いに助け合うのは当然のことだと指摘した。

これを契機として、１月９日、板門店（パンムンジョム）南側地域の「平和の家」で北南高位級会談が行われ、南朝鮮で開かれる第23回冬季オリンピック競技大会の成功的開催及び、北南関係の改善のための原則的な問題が真摯に協議され、共同報道文が採択された。

２月、朝鮮民主主義人民共和国の高位級代表団は第23回冬季オリンピックの開幕及び閉幕式に参加して民族の大事を祝い、北の民族オリンピック委員会代表団と選手団、応援団、テコンドー師範団、記者団も冬季オリンピックに参加して内外の耳目を大きく集中させた。

北側芸術団の祝賀公演と応援団の軽快な女性吹奏楽隊の入村式、『アリラン』の旋律が奏でられる中、統一旗を先頭とする北南選手の共同入場、テコンドー選手団の模範演武などは、オリンピックの雰囲気を盛り上げ、朝鮮民族の強烈な統一念願と意志を全世界に余すところなく誇示した。

２月10日、文在寅（ムンジェイン）大統領は、青瓦台で朝鮮民主主義人民共和国高位級代表団に会い、今回の北側代表団の訪問は南北関係の改善と朝鮮半島の平和の火種になったとし、きょうの意義深い席を執りはからってくれた金正恩委員長に心からなる謝意を表すると述べた。

文在寅大統領は、金正恩委員長が新年の辞で述べたように、南北関係をなんとしても当事者同士が解決していかなければならないとし、お互いが緊密に協力して南北共同の繁栄をめざして一歩一歩進んでいこうとの意志を表明した。

関係改善の方向を示して

金正恩委員長は、２月12日、南側地域を訪問して帰った朝鮮民主主義人民共和国高位級代表団に会った。

委員長は代表団の第23回冬季オリンピックの開幕式の参加と、青瓦台訪問などの活動内容、文在寅大統領以下南側高位人士との接触状況、今回の活動期間に把握した南側の意中とアメリカ側の動向な

どについての具体的な報告を聴取した。
　委員長は代表団の報告に満足を表し、今回の冬季オリンピックを機に北と南の強烈な熱望と共通の意志によってもたらされた和解と対話の良好な雰囲気をさらに昇華させ、立派な結果を続けて積み上げていくことが重要だとして、今後の北南関係の改善方向を具体的に話し、関係部門はこのための実務的な対策を立てるべきだとして綱領的な指示を与えた。
　委員長は、ほかにも南側地域で第23回冬季オリンピックの祝賀公演を成功裏に行って帰った三池淵管弦楽団のメンバーに会い、素晴らしく感動的な公演をもって第23回冬季オリンピックの成功に寄与し、民族の和合を願う北側人民の熱い心情を南の同胞に伝え大きな喜びを与えた彼らの公演の成果を熱烈に祝った。
　わが民族同士に力を合わせて北南関係を力強く前進させようとする金正恩委員長の気高い志によって開かれた和合と団結の道に沿って、南朝鮮大統領の特使代表団や芸術団をはじめとする南側の使節が相次いで平壌を訪れた。

歴史的な対面を成功させて

　歳月の流れとともに続いてきた民族分断の苦痛をうららかな４月の春の薫風に吹き飛ばし、限りない歓喜と希望を抱かせながら民族の和合と団結、平和・繁栄の新時代を切り開いた歴史的な第３回北南首脳対面と会談が４月27日、板門店南側地域の「平和の家」で行われた。
　板門店の分離線を越えた金正恩委員長は、文在寅大統領とともに北側地域の板門閣と南側地域の「自由の家」を背景に記念写真を撮り、

再び板門店分離線を越えて北側地域で文在寅大統領と今一度固い握手を交わし、板門店南側地域の会談場「平和の家」へ向かった。

北と南の首脳が互いに手を取って北と南を行き来する姿は、朝鮮民族史上初めて記録される感動的な情景であり、世界を大きく衝撃し驚嘆させた。

冷戦の申し子である長い分断と対決を一日も早く終息させ、民族の和解と平和・繁栄の新しい時代を果敢に切り開いて、北南関係をいっそう積極的に改善し、発展させていくべきだというのは、金正恩委員長の確固とした意志であった。

委員長は会談の冒頭に、分断と対決の象徴である板門店で文在寅大統領と非常に意義の深い対面を行うことになり、このような特別な場所における対面はそのこと自体がすべての人々に前途への希望と夢を再び抱かせる契機になるだろうと力をこめて語った。

委員長は、分裂と対決の歴史に終止符を打ち、平和と統一の新時代を開いていくという民族的な使命感と義務をいまさらのように痛感しているとし、きょうその新しい歴史を綴るスタートラインにて信号弾を打ち上げようという心情を持ってここへやって来たと語った。

文在寅大統領は、きょうの対面を祝福するのか日和も申し分なく、金正恩国務委員長が板門店の分離線をまたいだ瞬間、板門店は分断の象徴ではなく平和の象徴になったと語った。

金正恩委員長は、会談に先立ち歴史的な北南首脳の対面を記念して「平和の家」の芳名録に、**「新しい歴史はこれから、平和の時代、歴史の出発点で　金正恩　2018.4.27」**という親筆を残した。

金正恩委員長は、歴史的な第３回北南首脳の対面を記念して、文在寅大統領とともに対決と緊張の地であった板門店に、「平和と繁栄」を象徴する松を植えた。

文在寅大統領とともに板門店の分離線を越える
金正恩委員長

文在寅大統領とともに記念植樹をし、標識碑の
覆いを取る金正恩委員長

委員長と大統領は、北と南で各自準備した白頭山と漢拏（ハンナ）山の土を合わせて根元に埋め、大同江と漢（ハン）江の水を注いだ。

委員長は、一身がそのまま元肥となって貴重なこの根を覆う土になろうとの心情、風雨を防ぐ風よけになろうという心構えで、この木とともに折角日の目を見た北南関係改善の流れを立派に維持し、四季青々と繁る松の強靭さに劣らぬ強い精神をもってともに手をたずさえて未来を切り開いていこうと、深い意味をこめて語った。

金正恩委員長と文在寅大統領の名義になる「平和と繁栄を植える」という文字が刻まれた標識碑が松のかたわらに立てられた。

金正恩委員長は文在寅大統領とともに、時代と歴史、民族の一致した志向と念願をこめて「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」に署名し、宣言文を交換し、板門店宣言に関する共同発表を行った。

宣言文には、北と南は北南関係の全面的かつ画期的な改善と発展を遂げることによって、断ち切られた民族の血脈をつなぎ、共同繁栄と自主統一の未来を早めることについて、朝鮮半島で厳しい軍事的緊張状態を緩和し、戦争の危機を実質的に解消するために共同で努力することについて、朝鮮半島の恒久的かつ強固な平和体制を構築するために積極的に協力していくことについての問題がこめられている。

また、北と南は北側が取っている主動的な措置が、朝鮮半島の非核化にとって極めて意義の深い、重大な措置であるとの認識を共にし、今後各自が自らの責任と役割を果たすことにし、朝鮮半島を非核化するための国際社会の支持・協力を得るために積極的に努力していくことにした。

北と南の両首脳は定期的な会談ならびに直通電話を通じて、民族の重大事を随時真摯に論議し、信頼を深め、北南関係の持続的な発

展と朝鮮半島の平和と繁栄、統一に向かう好ましい流れを引き続き拡大していくべくともに努力していくことにした。

歴史的な板門店宣言は再び朝鮮民族に統一の希望を抱かせた。

北南首脳の対面と会談の様子をテレビで見た南の各階層の人民は、我知らず涙が出た、感激した、平和の扉が大きく開かれた、胸が躍る歴史の瞬間だ、朝鮮民族の魂は70年の歳月が流れても断ち切ることができないということを今一度痛感した、世界史に末永く残る歴史的合意を成立させた北南の首脳に心から敬意を表すると言った。

南朝鮮の各政党や市民団体も声明や談話を発表し、板門店宣言は70年余りも続いてきた分断と葛藤の輪を断ち切り、北南関係を大きく前進させた、その実現に向けて極力努力するとした。

世界各国の指導者たちは一斉に、北南首脳会談で板門店宣言が発表されたことを歓迎する、よい兆しだ、非常に肯定的なニュースだ、今後具体的な措置が講じられることを期待すると述べた。外国の主要な通信は、金正恩国務委員長が北の指導者としては初めて南を訪問した、驚嘆すべき瞬間、類を見ない場面などと報じた。

再び板門店にて

第３回北南首脳の対面及び会談から29日ぶりの５月26日、板門店北側地域の統一閣では第４回北南首脳の対面及び会談が電撃的に行われた。

会談では第３回北南首脳対面で合意した板門店宣言を迅速に履行してゆき、朝鮮半島の非核化を実現し地域の平和と安定、繁栄を遂げるために解決すべき諸問題とあわせて、現在北と南が直面してい

る諸問題、朝米首脳会談の開催を成功させる問題について深みのある意見の交換が行われた。

委員長は６月12日に予定されている朝米首脳会談のために多くの努力を傾けてきた文在寅大統領の労苦に謝意を表し、歴史的朝米首脳会談に対する確固とした意志を披瀝した。

委員長は、朝米関係を改善し、朝鮮半島の恒久的かつ強固な平和システムを構築するために、今後も積極的に協力していこうと語った。

第４回北南首脳の対面及び会談は、朝鮮の民族史に特記すべき今一つの歴史的出来事となった。

平壌へと継がれた北南首脳対面

金正恩委員長は、９月18日、歴史的な第５回北南首脳対面と会談のために平壌に到着した文在寅大統領を平壌国際空港で温かく迎えた。

文在寅大統領一行を10余万の平壌市民が沿道にあふれ出て同胞愛の熱情をもって歓迎した。委員長は文在寅大統領夫妻を百花園迎賓館に案内した。

９月18日、朝鮮労働党中央委員会本部庁舎では歴史的な第５回北南首脳会談が行われた。

会談では、板門店宣言を全面的に忠実に履行して、北南関係の進展をさらに加速するための諸問題についての深みのある意見が交わされた。

委員長は、９月19日、文在寅大統領の宿所百花園迎賓館を訪れて、第２日会談を行った。

会談では歴史的な板門店宣言を正確に履行するとの双方の意志を改めて確認し、その実行上堅持すべき重要問題ならびに具体的な対策案を定立し、北と南が当面取るべき若干の実践的措置について合意した。

委員長は、文在寅大統領と心と志を合わせて相手方を尊重し信頼する立場と姿勢をもって誠実に努力することで、敵対と対決が激化していた北南関係を画期的に転換させ、驚くべき変化と実りを生んだ貴重な成果と経験に基づいて、今後も和解と協力の時代にふさわしく、今日の関係発展を確実に裏づける措置を引き続き講じていく方途問題を真摯に話し合った。

委員長は同日、文在寅大統領と、今回の平壌首脳会談が重要な歴史的転機になるであろうとの認識を共にして、「９月平壌共同宣言」に署名した。

宣言には、北と南は非武装地帯をはじめとする対峙地域における軍事的敵対関係の終息を、朝鮮半島全域における実質的な戦争の危険の除去ならびに根本的な敵対関係の解消へと継続させていくことについて、互恵と共利共栄の原則で交流・協力を一層増大させて民族経済を均衡的に発展させるための実質的対策を講究していくことについて、離散家族と親戚の問題を根本的に解決するための人道的協力を一段と強めていくことについて、和解と団結の雰囲気を高めてわが民族の気概を内外に誇示しうるよう多様な分野における協力・交流を積極的に進めることについて、朝鮮半島を核兵器と核威嚇のない平和の地帯につくるべきであり、そのために必要な実質的前進を早急に実現していくべきだという認識を同じくしたことについて、金正恩国務委員長は文在寅大統領の招請により遠からずソウルを訪問することにしたということなどが盛り込まれた。

平壌を訪れる文在寅大統領を平壌国際空港で
出迎える金正恩委員長

文在寅大統領とともに歴史的な「９月平壌共同宣言」に
署名し、記念写真を撮る金正恩委員長

委員長は、「９月平壌共同宣言」と関連して、宣言には新たな希望に高鳴る民族の息吹があり、強烈な統一意志に燃える同胞の魂があり、遠からず現実として繰り広げられるであろうわれわれすべての夢がこもっていると述べた。

続けて委員長は、文在寅大統領とともに、平和と繁栄へと向かう聖なる旅程で、常に両手を固く取り合ってともに先頭を進むであろうとの意志を表明した。

ついで文在寅大統領は、南北関係は一切動揺することなく継続するであろうと確言し、去る春、韓半島には平和と繁栄の種がまかれ、きょうは秋の平壌で平和と繁栄の実が結ばれつつあるとして、喜びの言葉を述べた。

委員長は文在寅大統領とともに、９月19日、メーデースタジアムで、大マスゲームと芸術公演を観覧した。

朝鮮民族の歴史と文化に深い足跡を残した『アリラン』の旋律が鳴り響く中、大型統一旗が掲揚され、文在寅大統領を歓迎する特別シーンが繰り広げられた。板門店対面の意義深い諸瞬間が納められたスクリーンには4・27の巨大な意義が改めて表出され、スタジアムには民族的和解と団結の気運が満ちあふれた。

公演の終了後、金正恩委員長は、今回文在寅大統領と会って北南関係の進展上新たな里程標となる今一つの結実をもたらしたとして、文在寅大統領の疲れを知らぬ努力に感謝の意を表した。

文在寅大統領は、同胞愛の情をもって自分たちを温かく迎え入れ、心から歓待してくれた平壌市民に深い感謝の意を表し、南北関係を全面的に進展させ平和的な未来をたぐり寄せていくであろうとの意志を披瀝した。

金正恩委員長は、９月20日、文在寅大統領とともに朝鮮民族の聖

文在寅大統領とともに白頭山天池の湖畔を散策する
金正恩委員長

文在寅大統領とともに三池淵のほとりを散策する
金正恩委員長

山白頭山に登った。

委員長は文在寅大統領と連れ立って白頭連峰の最高峰将軍峰（チャングン）の頂に立ち、連峰の壮大な山岳美と清く澄んだ青い天池の全景、果てしなく広がる樹海を長いこと俯瞰した。

文在寅大統領は、朝鮮民族の魂と気象がこもる聖山の頂に立った感激を語り、きょうのこの第一歩がすべての同胞の登頂する新時代につながるであろうとの期待と確信を表明した。

金正恩委員長は、文在寅大統領夫妻とともに白頭山頂に登った歴史の瞬間を記念して意義の深い写真を撮り、そのあと天池の湖畔へ降りて散策し、白頭山に登った所感を語り合った。

白頭山の将軍峰と天池のほとりでは、北と南の人士たちが一つに解け合い、意義の深い記念撮影を行うシーンも見られた。

金正恩委員長は文在寅大統領一行を白頭山をひと目で望見できる三池淵のほとりに案内して昼食を共にし、散策もしながら歓談した。

北の新聞・放送は、北と南の首脳の白頭山探勝について、「北と南の両首脳が民族の象徴である白頭山に並んで登り、北南関係の進展と平和・繁栄の新時代の明瞭な足跡を残したことは、民族の歴史に特記すべき歴史的な出来事である」と評した。

2018年に３度にわたって進められた北南首脳の対面と会談は、不信と論難で貫かれてきた過去の古い惰性から脱却し、信義と協力をもって問題の妥結をはかる新しい対話の姿勢を見せたことで、長年の対決と断絶の時代から対話と協力の新時代を開く歴史的な転機となった。

４．世界を驚嘆させた外交活動

新たな段階に入った朝中親善

金正恩委員長は、習近平・中国共産党中央委員会総書記兼中華人民共和国主席兼中央軍事委員会主席の要請を受けて、３月25日から28日にかけて中華人民共和国を非公式訪問した。

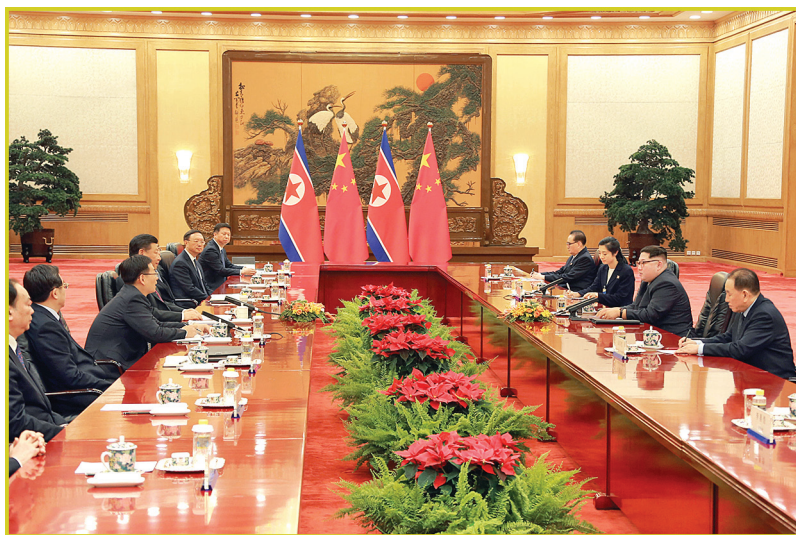
金正恩委員長を歓迎する儀式が人民大会堂北大庁で挙行された。

習近平主席は、金正恩委員長が最初の外国訪問として中華人民共和国を選んだことを熱烈に歓迎した。

委員長は、習近平主席の案内で中国人民解放軍陸軍・海軍・空軍儀仗隊を観閲した。

委員長は、26日、人民大会堂で習近平主席と会談した。委員長は、両国の老世代指導者たちが築き強化、発展させてきた朝中親善の貴重な伝統を継承し、進展する時代の要請に即して新たな高い段階に引き上げることは朝鮮労働党と政府の揺るぎない決心であると強調し、習近平主席をはじめとする中国の同志たちとたびたび会って友誼をさらに厚くし、戦略的な意思の疎通及び戦略戦術的協同を強化することで、朝中両国の団結と協力を固めなければならないと語った。

習近平主席は、最近朝鮮半島に起きている肯定的な変化は、尊敬する金正恩委員長の戦略的な決断と朝鮮の党と政府が傾けた努力のたまものであると言明した。

習近平・中国共産党中央委員会総書記兼
中華人民共和国主席に会う金正恩委員長

習近平主席と会談する金正恩委員長

この日委員長は、歴史的な中国訪問を歓迎して習近平主席が人民大会堂で催した宴会に招待された。

宴会に先立って参加者たちは、朝中親善の根をつくり力を入れてはぐくんできた両党、両国指導者たちの活動を収録したビデオを視聴した。

宴会ではまず習近平主席が歓迎演説を行い、ついで金正恩委員長が答礼演説を行った。

宴会ではまた、金正恩委員長の中国訪問を歓迎して特別に準備した中国アーチストたちの公演が行われた。

27日、金正恩委員長は習近平主席と彭麗媛女史が設けた釣魚台国賓館養源斎の午餐に招待された。委員長は、家庭的な雰囲気の漂う特別な午餐を準備し招待してくれたことに謝意を表し、習近平主席と深い意味のこもる談話を交わした。食事後、習近平主席と彭麗媛女史は委員長に中国の茶文化を紹介した。

金正恩委員長は、５月７日と８日、中華人民共和国大連市で習近平主席と２度目の対面を行った。

７日、金正恩委員長と習近平主席の会談が行われた。

委員長は、最近朝中関係が新たな全盛期を迎え、高いレベルへ到達しているのはたいそう喜ばしいことであるとし、特に、両党、両国の高位級往来が緊密になり、朝中最高指導部の戦略的意思疎通がかつてないレベルでなされていることを高く評価した。

委員長は、深い変化が起きている朝鮮半島周辺情勢の動きを分析、評価し、この戦略的機会を逸することなく朝中の戦術的協同をより積極的かつ緻密に強めていく方途問題について述べた。

習近平主席は、金正恩委員長の今回の訪問はわれわれ両党、両国の関係を高度に重視し、私と中国の党を信頼してわれわれが

なした合意を間違いなく実行しようという真情こもる意志の発現であるとして高く評価した。また、金正恩委員長の去る３月の最初の中国訪問以来、中朝関係及び朝鮮半島の情勢が肯定的に進展していることを満足に思っているとし、両党、両国の意思を疎通し、調整すべくじかに中国を訪問したことを評価し、改めて謝意を表した。

習近平主席は、中国は朝鮮の友好的な隣邦として朝鮮半島の情勢の進展と変化に大きな関心を持ち、当地域の平和と安定をはかるべく変わらぬ努力を傾けているとして、金正恩委員長が最近講じた重大な決断と措置を高く評価し、全的な支持を再度表明した。

習近平主席は、金正恩委員長の中国訪問を熱烈に歓迎して宴会を催した。

ここで習近平主席は歓迎演説を行い、今回の金正恩委員長の中国訪問は、委員長及び朝鮮の党中央が中朝関係なかんずく両党間の戦略的意思疎通を高度に重視し、双方の重要な共同合意を必ず履行しようという固い意志を十分に示した、このことは伝統的かつ強固な中朝親善を全世界に今一度誇示し、中朝関係と朝鮮半島の情勢に必ず重要な影響を及ぼすであろうと強調した。

金正恩委員長は答礼演説を行い、習近平主席と近しい中国の同志たちと40余日ぶりに再会し、このように意義の深い席を共にして感懐を分かち合うことをたいそう満足に思い、中国共産党中央の温かくも懇切な歓待と深い関心に対して深甚の謝意を表した。

委員長は、中国のような偉大な隣邦、中国の同志たちのような頼もしい真実の友人を持つ誇りと自負を改めて強めている、今後朝鮮半島と北東アジアの平和と繁栄を成就し、公正・正義の新世界の建設をめざす歴史的な長征を近しい中国の同志たちと固く手を取り合

って進めていくであろう、と語った。

８日午前、金正恩委員長は再び習近平主席に会って浜辺を散策しながら談話を交わし、習近平主席の設けた午餐に招かれた。

食事を始める前に金正恩委員長と習近平主席は、中国の茶文化を象徴する作法を鑑賞し、重要な談話を交わした。

食事が終わった後、金正恩委員長は習近平主席に、中国に滞在中、心のこもる格別な歓待を受け、今後進めるべき重大事と関連して心からなる高見にあずかることができたとして再び感謝の意を表した。

金正恩委員長は、6月19日と20日、中華人民共和国を再び訪問し、習近平主席と会見した。

19日、人民大会堂では金正恩委員長と習近平主席との会談が行われた。

委員長は、中国の党と政府が朝米首脳の対面と会談の成功をはかって積極的な心のこもる支持と立派な援助を行ってくれたことに謝意を表した。

委員長は、最近両党間で戦略的協同が強まり、相互の信頼が一層深くなった現実にたいそう満足し、貴重なものと考えているとして、今後も朝中両党、両国人民のより緊密な親善と団結、協力の関係をさらに深めていく決心と意志を表明した。

習近平主席は、金正恩委員長が朝米首脳の対面と会談を成功的に主導して、朝鮮半島の情勢を対話と協商の軌道、平和と安定の軌道に乗せたことを高く評価し、心からなる祝意を表した。

また、朝鮮半島非核化の実現をめざす朝鮮側の立場と決心を積極的に支持するとし、中国は今後とも引き続き自らの建設的役割を発揮していくであろうと述べた。

習近平主席と浜辺を散策しながら談笑する
金正恩委員長

習近平主席と中国の茶文化を象徴する作法を鑑賞する
金正恩委員長

習近平主席は19日夕、人民大会堂で盛大な宴会を催した。

習近平主席は歓迎演説で、金正恩委員長の中国訪問を熱烈に歓迎し、これは中朝両党の戦略的意思の疎通を高度に重視し、伝統的な中朝親善を発展させようと努める委員長の確固不動の意志を十分に示し、中朝両党と両国の不敗の関係を全世界に誇示したと語った。

そして、中国と朝鮮は近しい友、同志として互いが学び、参考にし、団結し協力することにより、両国の社会主義偉業のより明るく美しい未来を、共同で切り開いていくであろうと確言した。

金正恩委員長は答礼演説で、朝米首脳会見が成功裏に進められて、朝鮮半島と地域に新しい歴史的な流れが胎動している時期に、習近平主席と近しい中国の同志たちに再会できたことをたいそう嬉しく思うとし、習近平主席が国務に忙殺されながらもこのように深甚の歓待をもって迎えてくれたとして心からなる謝意を表した。

委員長は今日、朝中が同じ一つの家族のように苦楽を共にし心底から助け合い協力する姿は、朝中両党・両国の関係が伝統的な関係を超越して古今東西にたぐいのない特別な関係に発展していることをはっきり示しているとし、習近平主席と結んだきずなと情義をこのうえなく重視し、朝中の親善関係を新たな高い段階へ絶えず昇華発展させるために全力を傾けるであろうと語った。

宴会では中国のアーチストたちが特別に準備した芸術公演が行われた。

翌20日、金正恩委員長は習近平主席と釣魚台国賓館で再度会見した。

委員長は午餐に先立って行われた習近平主席との単独会見で、現

情勢と緊迫した国際問題について慎重に意見を交わし、新たな情勢のもとで両党、両国の戦略戦術的協同を一段と強化するための問題をもって習近平主席と討議した。

委員長は食事を終えた後、習近平主席の細心の関心と配慮により立派な満足すべき訪問を行うことができたとして、中国の党と政府が毎度格別な心情で温かく迎え歓待してくれていることに謝意を表した。

金正恩委員長は、20日、中国農業科学院国家農業科学技術革新院を参観した。

委員長は現代農業技術総合展示センター、葉菜栽培技術研究センター、果菜栽培技術研究センター、都市農業研究センター、住民地区農業応用展示センターをはじめ各所を見学し、中国農業科学院国家農業科学技術革新院の研究集団が国の農業発展に貢献する科学技術研究活動で立派な成果を遂げていることを高く評価した。

委員長は参観を記念して**「あなた方が達成した優れた研究成果に非常に感嘆しました。金正恩　2018. 6.20」**という親筆を残した。

中国農業科学院国家農業科学技術革新院は、金正恩委員長に彼らが栽培した花卉を贈呈した。

委員長はこの日の午後、北京市軌道交通指揮センターを参観した。委員長はセンター主任の解説を受け、北京市地下鉄建設史展示場と地下鉄司令指揮センター、自動切符販売および改札システム監視センターを見て、北京市軌道交通指揮センターのオートメ化のレベルが高く、統合操作システムが立派に構築されていることに感嘆したとし、センターが今後世界的な交通指揮センターに

中国農業科学院国家農業科学技術革新院を
参観する金正恩委員長

北京市軌道交通指揮センターを参観する金正恩委員長

一段と高く飛躍し、より大きな前進を遂げるであろうとの期待を表明した。

金正恩委員長は、９月９日、朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で、習近平・中国共産党中央委員会総書記兼中華人民共和国主席の特別代表として訪朝した栗戦書・中国共産党中央委員会政治局常務委員会委員兼中華人民共和国全国人民代表大会常務委員会委員長に接見した。

金正恩委員長は習近平主席が朝鮮民主主義人民共和国創建70周年慶祝行事に栗戦書委員長を自身の特別代表として派遣し、党及び政府代表団を送ってくれたことは朝鮮人民にとって大きな力と励ましになるとし、代表団のわが国訪問を熱烈に歓迎し、習近平主席ならびに中国の党と人民に温かい挨拶を送った。

金正恩委員長は、最も信頼する友好的な隣邦から訪れた貴重な同志たちを、わが党と政府と人民が最大の誠意を尽くして手厚く接待することは当然の道義であり義務であるとして、わが人民が大きな喜びと誇りの中で迎える最も大きな国家の祝日に当たっての習近平主席の特別代表である栗戦書委員長のわが国訪問は、新しい情勢のもとで日増しに好ましく強化、発展している不敗の朝中親善を今一度誇示する重要な契機になるであろうと語った。

栗戦書委員長は、両国の老世代指導者たちが親しく生み育ててきた中朝親善は、地域情勢の変化と歴史の風波を乗り越え、今日両党最高指導者たちの特別な親交関係に基づき一層厚い関係に昇華しているとし、国際関係がいかに変化しようとも中朝関係を持続的に、安定的に発展させ推し進めていこうとする中国の党と政府の確固たる立場には変わりがないと語った。

金正恩委員長は、９月10日、栗戦書委員長が引率する中華人民共

中華人民共和国全国人民代表大会常務委員会委員長を
歓迎する宴会に臨席した金正恩委員長

和国党及び政府代表団のために、歓迎公演を行い宴会を催す措置を講じた。

３度にわたる朝中首脳対面と会談、中国の党及び政府代表団の朝鮮訪問は、日を追って拡大、強化される朝中親善の歴史に消しがたい足跡を残した。

朝ロ親善関係を新しい時代の要求に即して

金正恩委員長は、５月31日、百花園迎賓館で訪朝中のセルゲイ・ラブロフ・ロシア連邦外相に接見した。

席上、ラブロフ外相は、金正恩委員長に送るプーチン大統領の親書を伝えた。

委員長は温かく立派な新書を送ってくれたプーチン大統領への謝意を表し、感謝の挨拶を伝えた。

談話では、最近世界的な関心事となっている朝鮮半島と該地域の情勢の推移と展望についての朝ロ最高指導部の意思と見解が交換され、両国の政治・経済協力関係を一段と拡大発展させ、緊密に協力していく問題が話し合われた。

ラブロフ外相は、朝鮮が北と南、朝米関係を正しく主導し実践的な行動措置を積極的に取ることにより、朝鮮半島と該地域の情勢が安定局面に入っていることを高く評価し、日程にのぼった朝米首脳会談と朝鮮半島非核化の実現をめざす朝鮮側の決心と立場をロシアは全的に支持し、満足な成果を収めるであろうと期待していると語った。

談話ではさらに、戦略的で伝統的な朝ロ関係を、今後も双方の利

ロシア連邦外相に接見する金正恩委員長

ロシア連邦会議議長と記念写真を撮る金正恩委員長

益に合致し、新時代の要請に即して引き続き発展させていくため、両国間の外交関係樹立70周年に当たる今年、高位級の往来を活性化し、多くの分野における交流と協力を積極化し、特に朝ロ最高指導者の会見を実現させることについて合意した。

金正恩委員長は朝鮮民主主義人民共和国創建70周年を共に祝うために訪朝したワレンチナ・イワノブナ・マトビエンコ・ロシア連邦会議議長に接見した。

マトビエンコ議長は金正恩委員長に、国務に忙殺されているにもかかわらず自分たちの滞留日程について深い関心を寄せ、貴重な時間を割いてこのように特別な席を設けて頂いたとして謝意を表した。

金正恩委員長はプーチン大統領が朝鮮民主主義人民共和国創建70周年に際して祝福の挨拶と立派な親書を送ってくれたことに深い謝意を表し、大統領とロシア人民に送る朝鮮労働党と政府、人民の温かい挨拶を伝えた。

金正恩委員長は、ロシア連邦会議議長との談話で、朝鮮半島と該地域の情勢にかかわるロシア指導部の意中と立場を聴取し、情勢の安定的発展をはかるための幅広い意見を交換し、朝鮮半島地域と世界の恒久的かつ強固な平和と安全を守る上で両国が緊密に協力し、歩調を合わせていくことについて見解を同じくした。

談話ではさらに、先代指導者たちによって築き上げられた戦略的かつ伝統的な朝ロ親善関係を変わりなく堅持し、持続的に、建設的に発展させ、議会間の相互協力をはじめ全般的な両国関係をより緊密にし拡大、強化していく両国最高指導部の立場と意志が披瀝された。

キューバの親善使節

ミゲル・ディアスカネル・キューバ共和国国家評議会議長兼内閣首相が11月４日、平壌を訪問した。

金正恩委員長は、はるばる大陸と大洋を越えて朝鮮を訪問するキューバの賓客を平壌国際空港で温かく迎えた。

４日午後、金正恩委員長はミゲル・ディアスカネル議長と単独会談を行った。

委員長はミゲル・ディアスカネル議長の朝鮮訪問を熱烈に歓迎し、代表団のこのたびの訪問は、両国人民の伝統的な友情と信頼、友好団結の不敗性を誇示する契機となり、朝鮮人民の正義の偉業に対する支持と連帯の表れであると語った。

金正恩委員長とミゲル・ディアスカネル議長は、それぞれ自国の実情に即した社会主義を建設するために闘う両国の党と国家の活動における成果と経験を通報し、それに全的な支持と連帯を表明し、各分野における協力と交流を共通の利益に即してさらに拡大発展させていくことについて話し合った。

会談ではまた、朝鮮労働党とキューバ共産党の共通の関心事である諸重要問題及び国際情勢に関する問題が真摯に討議され、すべての問題で見解を同じくした。

金正恩委員長はミゲル・ディアスカネル議長の朝鮮訪問を歓迎して、４日、宴会を催した。

金正恩委員長は宴会で歓迎演説を行い、ミゲル・ディアスカネル議長との今回の会見が、両国の友好関係を永遠に継承していこうと

ミゲル・ディアスカネル・キューバ共和国国家評議会議長兼
内閣首相とともに朝鮮人民軍儀仗隊を
観閲する金正恩委員長

ミゲル・ディアスカネル議長とともに群衆の歓呼に応える
金正恩委員長

いう意志を誇示する分水嶺になるであろうと述べ、朝鮮とキューバは国の自主権と尊厳を固守し、国際的正義を守る闘いで同じ塹壕を占めているとして、強力な繁栄する国家を建設するキューバ人民への変わらぬ支持声援を表明した。

委員長は友好的なキューバの党と政府、人民が社会主義建設と祖国の自主的統一をめざすわれわれの闘いに絶対的な支持声援を寄せていることに謝意を表し、われわれは朝鮮とキューバ間の戦略的かつ同志的な友好関係を引き続き強化、発展させていくであろうと強調した。

委員長は、５日、ミゲル・ディアスカネル議長を朝鮮労働党中央委員会本部庁舎に招いて談話を行い、晩餐を共にした。

金正恩委員長とミゲル・ディアスカネル議長は各自自国の状況を通報し、社会経済の発展過程で達成した成果と経験を交換し、両党、両国の党活動と社会主義建設、朝鮮半島の情勢と国際関係分野で持ち上がっているさまざまの問題について率直かつ真摯な意見を交換し、さらに各分野における協力と交流を活性化する方途について深く意見を交わした。

金正恩委員長はミゲル・ディアスカネル議長と共に５日夕、大マスゲームと芸術公演『輝かしい祖国』を観覧した。

金正恩委員長は、６日、訪朝日程を終えて帰国するミゲル・ディアスカネル議長を見送るべく空港に出向いた。

委員長はまた会う日を指折り数えて待つ、くれぐれも健康で幸せにすごし、活動で引き続き成果を挙げることを望む、世界がいかに変化しようとも、キューバ人民とあなたの側には私とわが党と人民が共にいるであろうとし、帰路の安全を祈った。

金正恩委員長は、社会主義の旗を掲げたわれわれの手を絶対に放

さず、両国における社会主義の建設を勝利一筋にまっすぐ前進させていこうと約束して別れの握手をし熱く抱擁した。

　ミゲル・ディアスカネル議長の訪朝は、朝鮮とキューバ間に結ばれた兄弟的で伝統的な友好・協力関係を、世紀と世代を継いで変わることなく継承し発展させ、社会主義の旗印を高く掲げて共同の偉業のために闘う両党・両国人民の戦闘的団結を強固にする上で歴史的分水嶺となった。

シンガポール共和国を訪問

　金正恩委員長は朝米首脳の対面と会談が開かれるシンガポール共和国を訪問し、６月10日、大統領宮殿でリー・シェンロン

首相と会見した。
　委員長は、優れて麗しいシンガポール共和国を訪問する機会を得てたいそううれしく思っているとし、朝米首脳の対面と会談のために可能な一切の条件とあらゆる便宜をはかってくれたシンガポール政府の誠意ある協力に深く感謝していると述べた。
　リー・シェンロン首相は、朝鮮民主主義人民共和国が自国を朝米首脳会談の場所として選んでくれたことに感謝するとし、歴史的な今回の朝米首脳会談が朝鮮半島に平和と安定をもたらす上で重要な契機になるであろうとの期待を表明した。
　席上、両国間の良好な関係を維持し、親交を深めながら幅の広い交流と協力を活性化し、両国の関係を多面的に発展させるための諸問題が話し合われた。
　委員長は６月11日、シンガポール市内の多くの場所を参観した。
　委員長はシンガポールが格別な誇りとしている大花園と世界的に名高い建造物「マリナ・ベイ・サンズ」の屋上にある公園「スカイ・パーク」、それにシンガポール港を参観した。
　委員長は「マリナ・ベイ・サンズ」の展望台に立って市内の夜景を俯瞰し、シンガポールは噂に違わず清潔で美しく、建物ごとに特色がある、今後各分野で貴国の立派な知識と経験を多く学びたいと思うと語った。
　委員長はシンガポール港へ向かう途中橋梁「ジュービリ」の上で、シンガポールの都市形成展望計画とジューリアン劇場についての説明を受けた。
　金正恩委員長は、きょうの参観を通してシンガポールの経済的潜在力と発展状況をよく知ることができた、貴国に関して好ましい印

シンガポール共和国首相と談話する金正恩委員長

シンガポール共和国の諸対象を参観する金正恩委員長

象を受けたと語った。
　委員長は、シンガポール政府の幹部たちが夜遅くまで同行して親切に案内し、紹介してくれたことに謝意を表した。

朝米関係の新しい歴史を開く

　金正恩委員長は６月12日、アメリカ合衆国ドナルド・Ｊ・トランプ大統領とシンガポールのセントサ島で朝米両国の史上初の首脳の対面と会談を行った。
　金正恩委員長とトランプ大統領は記念撮影を行った後、談笑しながら会談室に向かった。
　委員長はトランプ大統領との単独会談で、きょうここへたどり着く道のりが決して容易でなかったとし、過去の歴史がわれわれの足をつかみ、誤った偏見と慣行がわれわれの目と耳を塞ぎもしたが、そのすべてを果敢に踏み砕いてこの場にまで至り、新たなスタートラインに立つことになったという意味深い発言を行った。
　単独会談では、数十年間持続してきた朝米の敵対関係に終止符を打ち、朝鮮半島に平和と安定を定着させる上で重要な、意義の大きい実践的問題について率直な意見が交わされた。
　単独会談に続いて拡大会議が行われた。
　金正恩委員長は、トランプ大統領以下米国側代表団とこのように席を共にしたことを喜ばしく思うとし、敵対的な過去を不問に付して対話と協商を通じた現実的な方法で問題を解決しようとするトランプ大統領の意志と熱望を高く評価した。
　トランプ大統領は、今回の首脳会談が朝米関係の改善へと引き継

がれるものとの確信を表明し、金正恩委員長が本年の冒頭から取った主動的かつ平和愛好的な措置により、わずか数カ月前までも軍事的衝突の危機が極限に達していた朝鮮半島と該地域に平和と安定の雰囲気が到来するに至ったと評価した。

金正恩委員長は、両国の間に存在する根深い不信と敵対感情から多くの問題が生じたとし、朝鮮半島の平和と安定を招来し、非核化を実現するためには、両国が互いに理解し合ってこれ以上敵視しないことを約束し、このことを裏打ちする法的・制度的措置を取るべきだと語った。

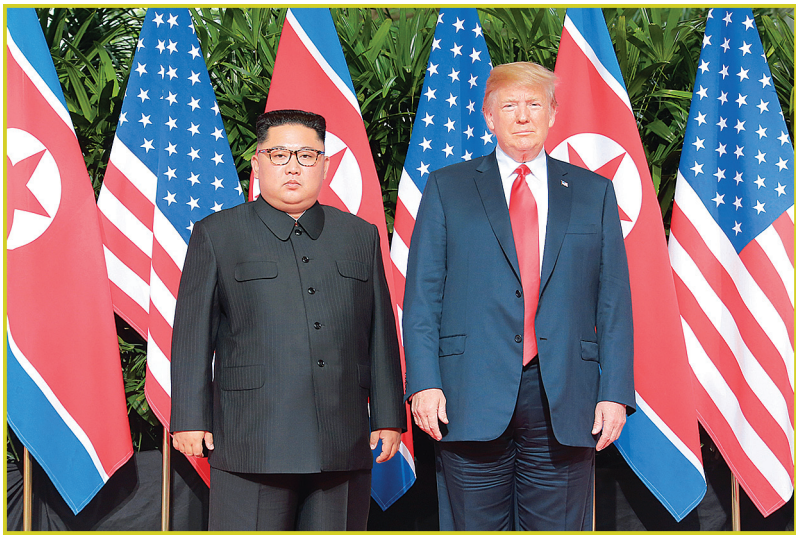
金正恩委員長は、トランプ大統領が提起した米軍人遺骨の発掘及び送還の要請を即座に受け入れ、この問題の速やかな解決対策を講ずるよう当該幹部に指示した。

会談では、朝鮮半島の平和と安定、朝鮮半島の非核化を果たしていく過程で、段階別、同時行動原則を守ることが重要だとする点で認識を同じくした。

金正恩委員長はトランプ大統領と共に歴史的なシンガポール首脳会談に関する共同コミュニケに署名するに当たって、きょうは過去を不問にして新しい出発を告げる歴史的な共同コミュニケに署名することになるとし、世界は重大な変化を目撃することになるであろうと語った。

金正恩委員長はトランプ大統領と、歴史的なコミュニケの採択を記念して意義深い写真を撮った。

委員長はトランプ大統領が便利な時期に平壌を訪問するよう招請し、トランプ大統領も金正恩国務委員長が米国を訪問するよう招請した。

この両首脳の招請は、朝米関係改善のための今一つの重要な契機

アメリカ合衆国大統領に会う金正恩委員長

アメリカ合衆国大統領と朝米共同コンミュニケに署名する
金正恩委員長

になるとの確信のもと双方に快く受諾された。

史上初めての朝米首脳対面と会談は世界中で嵐のような激情と反響を呼び起こした。朝鮮はもとより世界の多くの国が、歴史的な朝米首脳対面と会談、共同声明の採択は「新しい歴史の創造」「歴史的な出来事」「世界を35分間停止させた朝米首脳単独会談」「新しい出発を告げる歴史的な声明」と評した。

また、世界各国の政府と政党、団体も「朝鮮半島の平和を推し進め、該地域におけるより肯定的な情勢発展の道を開いた決断」「最近朝鮮政府が取っている諸措置は、朝鮮半島の平和を保障する意志の表示」「金正恩国務委員長と朝鮮の党と政府、人民に改めて祝賀の挨拶を送る」という内容の声明と談話を発表し、朝米首脳対面と会談は朝鮮半島と世界の平和と安定、繁栄を遂げる上で画期的意義を持つ出来事であると評した。

2018年の金正恩委員長

執　筆：金錦姫
編　集：安鉄鋼
翻　訳：金時習、金竜一
レイアウト：方成姫、金正蓮
発行所：朝鮮民主主義人民共和国
　　　　外国文出版社
発　行：チュチェ108(2019)年11月

ㄱ-1982196

E-mail:flph@star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp